放課後等デイサービス事業所における自己評価表（公表）

	公表：令和　6年　3月　29日					事業所名　　はぐぽん大橋駅前	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	0	・学習スペース、ホールが独立している ・アクティブな活動も可能。その際、ご利用者様同士の間隔を空けてぶつからない様にしている。	ボール使った遊びの際、範囲が決まっているので特に高学年の利用者様が思い切り活動ができない。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	5	・部屋の境目がフラット ・床を柔らかくしている	・事業所が2階のため階段は注意している ・階段を登らなければならない。裏の入口から入ることも検討すべき。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く社員が参画しているか	5	3	0	・ミーティングや申し送りノート等で情報共有をしている。 ・半年ごとに目標を作っている。	・目標を忘れがちにならないよう壁に張り出す等の対応をしたい。
	⑤	保護者等向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	・ニーズに合わせられるように努めると共に本部にもこのような意見がある、ということを伝えている。 ・利用者本人にやりたい活動を聞き、取り入れる。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	福岡市内7事業所間で研修を開催・参加を催している。	
適切な支	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・児発管だけではなく職員間にて共有し、意見交換をして反映している。 ・こまめに情報共有を行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	予約表作成時にスタッフ間で話し合いを行っている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	休日や長期休暇には平日では難しいお出掛けイベントや体験型の企画を設定して実施している。	

支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	ブリーフィングで情報共有を行っている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	ケース記録を記入し、全職員が把握できるようにしている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	2	0		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	・管理者と共に他の職員と参加するようにしている。 児童発達支援管理責任者の異動がある場合でも、お子様と日々関わってきたスタッフが同席している	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡の調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	3		今後努めていかなければならない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4	0		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	2		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	5		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	1		
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	3	0		

保護者への説明責任等	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	0		今後定期的に企画していく予定。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0		
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	0		
	㉟	個人情報に十分注意しているか	8	0	0		
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0		
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	3		
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4	0		
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	0		
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0		
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0		
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	1	6	1		
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	0		